

3. スクリーンチェンジャー		
No.	問題	原因/解決
3-1	シリンダーストック	<p>1. スクリーンチェンジャーがうまく加熱されていない</p> <p>(1) 温度設定が正常か確認する</p> <p>(2) ヒーターが正常か確認する</p> <p>⚠ 作業の前には、シリンダー内に固く冷やされた物質が付着しないように、スクリーンチェンジャーが十分に加熱されていることを確認してください。</p> <p>2. シリンダーの周囲に残った材料がくっつく</p> <p>(1) 見えるシリンダーの周りの左側の素材をクリーニングします。</p> <p>(2) シリコンオイルでシリンダー全体にグリスアップする。</p>  <p>(3) 油圧ユニット(添付写真)の圧力バルブの作動圧を少し上げ、シリンダーを動かせるか試してください。</p> <p>⚠ 圧力を急激に上げ過ぎるとシリンダーが破損しますのでご注意ください。</p> <p>(4) シリンダを動かすことができる場合は、元の設定に戻して圧力を調整してください。</p> <p>⚠ 通常の状態では、作動圧力は 200kg/cm² を超えないことが推奨され、最低の圧力で運転することが推奨されます。</p> <p>⚠ シリンダが 1 本しか動かない状態での運転は可能ですが、フィルタが汚れていて圧力が高すぎる場合は、機械を停止してフィルタを交換してください。メッシュの交換の際は機械を停止してください。危険を招く恐れがあります。</p>

3. 油圧ユニットの電磁弁が正常に動作しない。

次の手順で確認してください:

(1) 電磁弁のライトが点灯または消灯していることを確認します。

--> スクリーンチェンジャー用コントロールパネルのボタン FORWARD、BACKWARD を押して、ボタンを押したときにライトが点灯するかどうかを確認します。

ライトが点灯している場合は、次の手順(2)に進みます。

ライトが消灯している場合は、ソレノイドバルブが故障していると考えられます。

(2) 下の写真で示した部分が動作していないか確認してください。

-->前進または後退ボタンを押すと、自動的に沈みます。



自動的に沈む場合は、電磁弁が正常であることを意味します。手順(3)へ移動します。

自動で沈まない場合は、動画 0:00~0:20:

<https://www.youtube.com/watch?v=WkFxa6N-hsY>のようなパーツで突いてください。



内部でバルブが詰まっている可能性があります。
ブロックの取り外しのため、手動で数回突きます。
フォワード/バックワードボタンを押して自動的に沈むかどうか確認し、それでも動かない場合は、ソレノイドバルブが破損しているかどうかを再度テストします。
(3) ボタン BACKWARD を押してフィルターを押し戻すと同時に、高ピークに達したときの圧力計 (電磁弁の横に取り付けられています) の値を確認します。
圧力値が通常よりも非常に低い値を示している場合は、油圧シリンダー内部のオイルシールが破損している可能性があるため、シリンダーの部品を交換する必要があります。

圧力値が正常であれば、圧力を少しずつ上げ、フィルターを押し戻したり引いたりする力を強くすることができます。

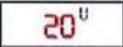
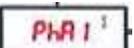
⚠ 圧力は、圧力計の目盛の 2/3 を超えてはなりません。

動画 0:21～0:29: <https://www.youtube.com/watch?v=WkFxa6N-hsY> のようにつまみを回して油圧を調整します。



(4) (1)～(3)の操作を行っても問題が解決しない場合があります。
フィルターが引っかかっている可能性があります。
まず油圧シリンダー内部の圧力を抜くため、手動でフィルターを動かします。
電磁弁への接続部から黒いパイプを取り外してください。
(配管を外した後にオイルを回収する容器をお客様でご用意ください。)
また、フィルターにシリコンオイルを塗布して潤滑してください。その後、フィルターを手で動かすことができます。

3-2	<p>フィルターの効果が弱い/ ダイヘッド固着/ ペレットに不純物が混ざる</p>	<p>1. スクリーンメッシュは取り付けられているが、適切に配置されていなかったり、滑り落ちたりすることがあり、何らかの粒子がスクリーンを通過した可能性があります。</p> <p>(1) 硬いメッシュをベースとして使用し、両端に配線結び、所定の位置にしっかりと巻き付けられていることを確認します。</p> <p>(2) 硬いメッシュの上に、柔らかいメッシュを巻き付け、両端の配線を再度結び付け、所定の位置にしっかりと巻き付けられていることを確認します。</p> <p>⚠ ハードメッシュは、1 回ごとに交換する必要はありません。次の変更まで、長時間使用できます。しかし、ソフトメッシュは、メッシュを置き換えるときに、1 回ごとに交換する必要があります。</p> <p>⚠ メッシュが移動した場合/メッシュの幅が小さすぎる/メッシュ破断/メッシュの巻き付け不足の場合、フィルタリングの効果に影響します。</p>
3-3	<p>金属がダイヘッドに入る</p>	<p>1. メッシュがうまく固定されない場合があります。そのため原料が通過すると、圧力によってメッシュが滑ったり破損したりします。</p> <p>(1) メッシュを取り換える際はメッシュをしっかりと固定して配置してください。</p> <p>(2) 適切な時期にメッシュを交換するようにしてください。使用期間が長すぎると、メッシュの汚れが詰まって圧力が高くなり、圧力が高くなるとメッシュが切れることがあります。</p>
3-4	<p>材料が頻繁に漏れる</p>	<p>1. 材料の汚れの度合いに関係します。原料が汚れていて、メッシュがすぐに固着してしまう場合、原料漏れが発生しやすくなります。原料が比較的きれいでメッシュがゆっくり固着していれば、原料漏れは発生しづらくなります。</p> <p>⚠ フィルターとフィルター本体には隙間がほとんどなくなるため、フィルターが入り込んだり、出たりしてメッシュを変えることができます。そのため、機械がしばらく稼働している間に、フィルターから何らかの素材が出てくるのが普通です。</p> <p>⚠ 原料漏れが発生した場合は、既存の材料を取り除くようにオペレーターに伝えてください。そのため、メッシュを変更する必要があるときに画面の動きに影響を与えたり、焼けたりすることはありません。</p>

3-5	フィルタの交換方法	1. 取扱説明書をご覧ください。起動と操作 - 6.フィルターの変更
3-6	Dynisco 圧力計の再設定方法	<p>1. ダイニスコ圧力計を再設定する動画は、次の Web サイトをご覧ください。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">https://youtu.be/DI7NyGhdO9o</p> <p>そして、添付の説明書に従って、段階的に調整してください:</p> <p>(1) 2 つのボタンを同時に押します。()  + </p> <p>(2) 命令としてボタンを押す</p> <p style="text-align: center;">またはを見つけて 0.5 秒待ちます。   </p> <p>(3) 表示されたら、ボタンを押して数字を表示させ、ボタンを押します。   </p> <p style="text-align: center;"></p> <p>(4) 表示されたら、ボタンをすばやく 2 回押して、次のステップを続行しようとして。 </p> <p style="text-align: center;"></p> <p> 見つかるまでこのステップを繰り返す(2 回押す)必要がありますのでご注意ください </p> <p style="text-align: center;"></p> <p>(5) 0.5 秒待つて設定値が表示されたら、を押して必要な値を最初のアラームとして設定できます</p>



(6) 必要な値を調整したら、ボタンを押してからを押します。その後、最初のアラームの設定が終了します。  

(7) 見つかるまで、手順 4 を繰り返す(2 回押す)  

(8) 手順 5 ~手順 6 を繰り返して、2 つ目のアラーム値を調整する

(9) 最初のアラームと 2 番目のアラームを調整した後、画面をオフにします。10 秒待ってから電源を入れます

 この 2 つの値(最初の警報値と 2 番目の警報値)に加えて、他の値は命令と同じでなければなりませんのでご注意ください。